

「第4期がん対策推進基本計画コア指標一覧」
厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課（2025年7月時点）

第91回がん対策推進協議会	参考資料 6
令和7年7月28日	

分野	指標分類	#	再掲	コア指標	指標	3期	データソース
全体目標「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」							
	最終アウトカム指標	000001		○	がんの年齢調整死亡率（75歳未満、全年齢）	1001	人口動態統計
		000002		○	がん種別年齢調整死亡率（75歳未満、全年齢）	1002	人口動態統計
		000003		○	難治性がん（代表例：膵がん）の年齢調整死亡率	-	人口動態統計
		000004		○	がんの年齢調整罹患率	1003	全国がん登録
		000005		○	がん種別年齢調整罹患率	1004	全国がん登録
		000006		○	がん種別 5 年生存率	2001	全国がん登録／院内がん登録
		000007		○	希少がんの5年生存率	-	全国がん登録／院内がん登録
		000008		○	難治性がん（代表例：膵がん）の5年生存率	-	全国がん登録／院内がん登録
		000009		○	小児がん患者の5年生存率	2091	全国がん登録／院内がん登録
		000010		○	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	患者体験調査
		000011		○	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる希少がん患者の割合	-	患者体験調査
		000012		○	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる若年がん患者の割合	-	患者体験調査
1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実							
	分野別アウトカム指標	100001			がん種別年齢調整罹患率（胃・大腸・肺・女性乳房・喫煙関連がん）	1004	全国がん登録
		100002			がん種別年齢調整罹患率（肝・ATL・子宮頸部）	1004	全国がん登録
		100003			検診がん種別早期がん割合	-	全国がん登録
		100004		○	検診がん種別進行がん罹患率	-	全国がん登録
がんの 1 次予防							
生活習慣について							
	アウトプット指標	111101			拠点病院等*1で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	111201		○	BMI18.5以上25未満（65歳以上はBMI20を超え25未満）の者の割合	1018	国民健康・栄養調査
		111202		○	食塩摂取量の平均値	1019	国民健康・栄養調査
		111203			野菜摂取量の平均値	1020	国民健康・栄養調査
		111204			果物摂取量の平均値	1021	国民健康・栄養調査
		111205		○	1 日の歩数の平均値	-	国民健康・栄養調査
		111206			運動習慣者の割合	1017	国民健康・栄養調査
		111207		○	1 日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	1016	国民健康・栄養調査
		111208			中学生・高校生の飲酒者の割合	-	厚生労働科学研究
		111209		○	20歳以上の者の喫煙率	1011	国民健康・栄養調査
		111210			望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合	1015	国民健康・栄養調査
		111211			中学生・高校生の喫煙者の割合	1012	厚生労働科学研究
		111212			妊婦の喫煙率	1013	こども家庭庁からのデータ提供
感染症対策について							
HPV							
	アウトプット指標	112101		○	HPVワクチン定期予防接種実施率	-	地域保健・健康増進事業報告
肝炎							
	アウトプット指標	112102			肝疾患専門医療機関数	-	地方自治体における肝炎対策実施状況調査
		112103			肝炎医療コーディネーターの養成者数	-	地方自治体における肝炎対策実施状況調査
		112104			B型肝炎定期予防接種実施率	参3	地域保健・健康増進事業報告
	中間アウトカム指標	112201			B型・C型肝炎ウイルス検査受検率	参2	厚生労働科学研究
		112202			B型・C型肝炎ウイルス陽性者数	-	「地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）」及び「特定感染症検査等事業実績報告」
HTLV-1							
	アウトプット指標	112105			HTLV-1関連のホームページの閲覧数（厚労省や厚生労働科学研究班作成のホームページのPV数）	-	厚生労働省調べ
		112106			HTLV-1関連の窓口数	-	結核感染症課調査
		112107			HTLV-1の保健所の検査数	-	結核感染症課調査
		112108			妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の公費負担実施率	-	母子保健課調査
	中間アウトカム指標	112203			ヒトT細胞白血病ウイルス 1 型感染率	参4	厚生労働科学研究
がんの 2 次予防（がん検診）							
受診率向上対策について							
	アウトプット指標	121101		○	受診勧奨実施市町村数（特別区を含む、以下同じ）	-	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
		121102			普及啓発キャンペーンの実施状況（資料の実質配布枚数、イベント参加者数）	-	がん検診受診率60%達成に向けた集中キャンペーン月間実施状況調査
		121103			指針に基づく検診の実施率	-	保険者データヘルス全数調査
	中間アウトカム指標	121201		○	検診受診率	1031	国民生活基礎調査
がん検診の精度管理等について							
	アウトプット指標	122101			がん検診の精度管理について技術的支援を行った市町村への支援数（特別区を含む）	-	厚生労働科学研究
		122102			精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行い、実際にそれらの市町村に指導・助言等の取り組みを実施した都道府県数	-	都道府県用チェックリスト実施率調査
		122103			全被用者保険者における要精密検査対象者への受診勧奨の実施割合	-	保険者データヘルス全数調査
		122104			正しいがん検診の周知のため、住民に対し、がん検診の正しい情報提供を実施した市町村数	-	市区町村用チェックリスト実施率調査
	中間アウトカム指標	122201		○	精密検査受診率	1032	地域保健・健康増進事業報告
		122202			がん発見率	-	地域保健・健康増進事業報告
		122203			偽陽性割合	-	地域保健・健康増進事業報告
科学的根拠に基づくがん検診の実施について							
	アウトプット指標	123101		○	指針の遵守市町村数	1033	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
		123102			指針に基づかないがん検診の中止市町村数	参8	市区町村におけるがん検診の実施状況調査

分野	指標分類	#	再掲	コア指標	指標	3期	データソース
2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供							
	分野別アウトカム指標	200001		○	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査
		200002			小児がん患者のがんの診断・治療全般の総合評価（平均点又は評価が高い割合）	2005	小児患者体験調査
		200003			若者がん患者のがんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査
		200004			一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	2003	患者体験調査
		200005		○	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	-	患者体験調査、小児患者体験調査
		200006		○	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3012	患者体験調査
		200007		○	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3013	患者体験調査
		200008		○	療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3015	遺族調査
		200009		○	療養生活の最終段階において、精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3016	遺族調査
		200010			在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度	3033	遺族調査のサブグループ解析（全死亡のうち在宅死亡）
		200011			希少がんについて、担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割	2083	患者体験調査
がん医療提供体制等							
医療提供体制の均てん化・集約化							
	アウトプット指標	211101		○	役割分担に関する議論が行われている都道府県の数	-	現況報告書
		211102		○	がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	2025	患者体験調査
		211103			BCPIに関する議論が行われている都道府県の数	-	現況報告書
		211104			（参考）BCPを整備している拠点病院等の割合	-	現況報告書
		211105		○	都道府県協議会に小児がん拠点病院等が参加している都道府県の数	-	現況報告書
		211106		○	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専従の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	211201		○	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	-	患者体験調査
		211202			初診時から確定診断までの期間が1ヶ月未満の人の割合	-	患者体験調査
がんゲノム医療							
	アウトプット指標	212101		○	がんゲノム医療中核拠点病院等の数	2011	現況報告書（がんゲノム）
		212102			がんゲノム医療中核拠点病院等における遺伝医学に関する専門的な知識及び技能を有する医師の数*2	2013	現況報告書（がんゲノム）
		212103			がんゲノム医療中核拠点病院等における遺伝医学に関する専門的な遺伝カウンセリング技術を有する者の数*2	2014	現況報告書（がんゲノム）
		212104			がんゲノム医療中核拠点病院等における遺伝カウンセリング等を行う部門につないだりする者の数*2	2015	現況報告書（がんゲノム）
		212105			がんゲノム医療中核拠点病院等におけるがん薬物療法に専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の数*3	2016	現況報告書（がんゲノム）
	中間アウトカム指標	212201		○	がんゲノム情報管理センターに登録された患者の数	2019	C－C A Tからのデータ提供
		212202			がんゲノム医療中核拠点病院等において遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングを実施した患者の数：遺伝性腫瘍に係る「遺伝カウンセリング料」の算定件数*2	2018	現況報告書（がんゲノム）
		212203			がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスパートパネルの結果治療薬の選択肢が提示された割合	-	C－C A Tからのデータ提供
		212204		○	がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスパートパネルで推奨された薬剤が投与された割合	-	C－C A Tからのデータ提供
		212205			ゲノム情報を活用したがん医療についてがん患者が知っていると回答した割合	2020	患者体験調査
手術療法・放射線療法・薬物療法について							
手術療法							
	アウトプット指標	213101			拠点病院等における我が国に多いがん*4の鏡視下手術の割合	2031	現況報告書
		213102			厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している拠点病院等の割合	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	213201		○	我が国に多いがん*4の術後短期死亡率	2032	院内がん登録+DPC
		213202			診断から手術までの日数（術前化学療法の対象外のがん種・ステージ患者に対象を限定）	-	院内がん登録+DPC
放射線療法							
	アウトプット指標	213103		○	IMRTを提供しているがん診療連携拠点病院*5の割合	2035	現況報告書
		213104			専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院の割合	2036	現況報告書
		213105			常勤の診療放射線技師が2人以上配置されているがん診療連携拠点病院の割合	-	現況報告書
		213106			専従の放射線治療に関する専門資格を有する常勤の看護師が放射線治療部門に1人以上配置されているがん診療連携拠点病院の割合	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	213203			放射線治療関連QI（拠点病院等（QI研究参加施設*6）における標準的治療の実施割合）	-	院内がん登録+DPC
		213204			拠点病院等（QI研究参加施設）における手術から放射線治療開始までの期間	-	院内がん登録+DPC
薬物療法							
	アウトプット指標	213107			専任のがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の薬剤師が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院の割合	2040	現況報告書
		213108			薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専従の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	(2041)	現況報告書
		213109			がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専従のがん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任のがん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	-	現況報告書
		213110			免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携等して対応している拠点病院等の割合	-	現況報告書
		213111			自施設で対応できるがんについて提供可能な診療内容を病院HP等でわかりやすく広報している拠点病院等の割合	-	現況報告書

分野		指標分類	#	再掲	コア指標	指標	3期	データソース	
		中間アウトカム指標	213205		○	化学療法/薬物療法関連QI（拠点病院等（QI研究参加施設）における標準的治療の実施割合）	2021	院内がん登録+DPC	
			213206			遅延なく化学療法が行えているか（例：術後化学療法における手術から化学療法まで、あるいは、進行例における診断から化学療法までの期間）＊7	-	院内がん登録+DPC	
			213207			科学的根拠を有する免疫療法について国民が必要な情報を取得できている割合	2043	世論調査	
	チーム医療の推進								
		アウトプット指標	214101		○	緩和ケア診療加算の算定回数	-	NDB	
			214102		○	栄養サポートチーム加算の算定回数	-	NDB	
			214103			地域における相談支援や緩和ケアの提供体制・連携体制について協議し、体制整備を行った都道府県の数	-	現況報告書	
			214104			がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対応している拠点病院等の割合	-	現況報告書	
			214105			「栄養サポートチーム加算」を算定している拠点病院等の割合	-	現況報告書	
		中間アウトカム指標	214201		○	主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	2055	患者体験調査	
			214202			医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	-	患者体験調査	
	がんのリハビリテーションの推進								
		アウトプット指標	215101		○	がんリハビリテーション研修プログラムを修了している医療従事者の人数	2063	ライフプランニングセンターからのデータ提供	
			215102			リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されているがん診療連携拠点病院の割合	2061	現況報告書	
			215103			がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する療法士等を配置しているがん診療連携拠点病院の割合	-	現況報告書	
		中間アウトカム指標	215201		○	拠点病院等（QI研究参加施設）に通院・入院中のがん患者でリハビリテーションを受けた患者の割合	2062	院内がん登録+DPC	
支持療法の推進									
	アウトプット指標	216101		○	がん相談支援センターにおけるアピアランスに関する相談件数	-	現況報告書		
		216102			リンパ浮腫研修の受講者数	-	ライフプランニングセンターからのデータ提供		
		216103			リンパ浮腫外来が設置されている拠点病院等の割合	2077	現況報告書		
		216104			リンパ浮腫に対して専門的な治療を受けられた患者の数：H007-4 リンパ浮腫複合的治療料の算定回数	-	NDB		
		216105			ストーマ外来が設置されている拠点病院等の割合	2078	現況報告書		
		216106	再掲		専任のがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の薬剤師が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院の割合	2040	現況報告書		
		216107	再掲		薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専従の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	(2041)	現況報告書		
		216108	再掲		がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専従のがん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任のがん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	-	現況報告書		
		216109			支持療法に関するガイドラインの数	2073	Minds登録数		
	中間アウトカム指標	216201		○	治療による副作用の見通しを持てた患者の割合	2074	患者体験調査		
		216202		○	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができと思う患者の割合	2075	患者体験調査		
		216203			外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができたがん患者の割合	2076	患者体験調査		
		216204		○	拠点病院等（QI研究参加施設）において支持療法に関する標準診療を実施された患者の割合	2071	院内がん登録+DPC		
がんと診断された時からの緩和ケアの推進									
緩和ケアの提供									
	アウトプット指標	217101		○	拠点病院等の緩和ケアチーム新規診療症例数	-	現況報告書		
		217102			特定疾患治療管理料　がん患者指導管理料イの算定数	-	NDB		
		217103			緩和ケア外来の新規診療患者数	-	現況報告書		
		217104			拠点病院等1施設あたりの地域連携推進のための多施設合同会議の開催数	-	現況報告書		
		217105			神経ブロックの実施数：L101-神経ブロック(神経破壊剤又は高周波凝固法使用)-腹腔神経叢ブロック(神経破壊剤又は高周波凝固法使用)の件数	-	NDB		
		217106			緩和的放射線照射の実施数：M001-3(直線加速器による放射線治療)の2（1以外の場合）の件数	-	NDB		
		217107			緩和ケア外来への地域の医療機関からの年間新規紹介患者数	-	現況報告書		
		217108	再掲	○	緩和ケア診療加算の算定回数	-	NDB		
緩和ケア研修会									
	アウトプット指標	217109			緩和ケア研修修了者数	3017	がん等における新たな緩和ケア研修等事業		
	中間アウトカム指標	217201		○	医療者はつらい症状にすみやかに対応していたと感じる割合	-	患者体験調査・遺族調査		
		217202			患者報告アウトカム（PRO）の症状改善率　＊期中に指標を開発予定	-	日本緩和医療学会からのデータ提供		
		217203	再掲		身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができと思う患者の割合	2075	患者体験調査		
		217204			心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できと感じている患者の割合	3011	患者体験調査		
		217205		○	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	3002	患者体験調査		
		217206			家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	3003	患者体験調査		
		217207			医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	2006	患者体験調査		
		217208			国民の緩和ケアに関する認識	3018	世論調査		
		217209			国民の医療用麻薬に関する認識	3019	世論調査		
妊孕性温存療法									
	アウトプット指標	218101			がん・生殖医療の意思決定支援に関する人材育成を実施している拠点病院等の割合	-	現況報告書		
		218102			がん相談支援センターにおける「妊孕性・生殖機能」に関する相談件数	-	現況報告書		
		218103		○	日本がん・生殖医療登録システムJOFRへの登録症例数	-	日本・がん生殖医療学会からのデータ提供		
	中間アウトカム指標	218201		○	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	2093	患者体験調査、小児患者体験調査		
		218202			がん・生殖医療に関する臨床研究実施数　＊実施中の研究数または開始数／年	-	厚生労働科学研究成果データベース、AMEDfind、UMIN-CTR、jRCT		

分野	指標分類	#	再掲	コア指標	指標	3期	データソース
希少がん、難治性がん対策の推進							
希少がん対策							
	アウトプット指標	220101		○	希少がんホットラインへの問い合わせ数	-	国立がん研究センターからのデータ提供
		220102			「がん情報サービス」または「希少がんセンター」に掲載された希少がんの数および当該ページへのPV数	-	国立がん研究センターからのデータ提供
		220103			希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等の数と他施設へ紹介する拠点病院等の数	-	現況報告書
		220104		○	中央病理コンサルテーションの数	-	国立がん研究センターからのデータ提供
		220105			希少がんに対する臨床試験を実施している拠点病院等の数	-	現況報告書
		220106			希少がんに関するガイドラインの数（がん種に対するガイドラインの作成率）	-	Minds登録数
	中間アウトカム指標	220201			治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた希少がん患者の割合	-	患者体験調査
		220202			希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始数	-	現況報告書＋院内がん登録
		220203			希少がん患者の初診から診断までの時間、診断から治療開始までの時間	2082	患者体験調査
難治性がん対策							
	アウトプット指標	220107			難治性がん*8に関するHP等の整備を行っている拠点病院等の数	-	現況報告書
		220108		○	難治性がん*8診療を積極的に受け入れている拠点病院等の数と他施設へ紹介する拠点病院の数	-	現況報告書
		220109			難治性がん*8に対して臨床試験を行っている拠点病院等の数	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	220204			難治性がん*8診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始数	-	現況報告書＋院内がん登録
小児がん・AYA世代のがん対策							
小児がん対策							
	アウトプット指標	230101		○	小児がん拠点病院等で小児がんの薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の数	-	現況報告書（小児がん）
		230102			小児がん拠点病院等で小児の手術に携わる、小児がん手術に関して専門的な知識及び技術を有する医師の数	-	現況報告書（小児がん）
		230103			小児がん拠点病院等で小児がんの放射線療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師の数	-	現況報告書（小児がん）
		-			適切な測定指標が無いため指標設定無し	-	-
		230104			小児がん拠点病院等における小児がん看護に関する専門的な知識や技能を習得している看護師の数	-	現況報告書（小児がん）
		230105		○	小児がん拠点病院等における医療環境にある子どもや家族への療養支援に関する専門的な知識及び技能を有する者の数	-	現況報告書（小児がん）
		230106			都道府県協議会で長期フォローアップの連携体制について議論している都道府県数	-	現況報告書
		230107			（参考）長期フォローアップ外来を設置している小児がん拠点病院等の施設数	-	現況報告書（小児がん）
	中間アウトカム指標	230201			小児がん拠点病院で治療を受けた小児がん患者の割合*11	-	全国がん登録＋院内がん登録
		230202		○	がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う小児がん患者の割合	-	小児患者体験調査
		230203		○	長期フォローアップについて知っていると回答した小児がん患者の割合	-	小児患者体験調査
		230204			小児がん拠点病院において実施されている小児がんに関する治験数	-	現況報告書（小児がん）
		AYA世代のがん対策					
	アウトプット指標	230108		○	多職種からなるAYA支援チームを設置している拠点病院等の割合	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	230205			がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じる若年がん患者の割合	3002	患者体験調査
		230206			外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができた若年患者の割合	2076	患者体験調査
		230207	再掲	○	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	2093	患者体験調査、小児患者体験調査
高齢者のがん対策							
	アウトプット指標	240101			当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の割合	-	現況報告書
		-			実態把握の段階／適切な測定指標が無いため、指標設定無し（着実に推進すること）	-	-
		240102		○	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等の割合	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	240201			医師・看護師・介護職員など医療者同士の連携は良かったと回答した人の割合	-	遺族調査
		240202			患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあったと回答した人の割合	-	遺族調査
新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装							
	アウトプット指標	250101			臨床試験に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口を設置している拠点病院等の割合	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	250201		○	がんに関する臨床研究数	-	JRCT
3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築							
	分野別アウトカム指標	300001			がん相談支援センターを利用したことのある人が役に立ったがん患者の割合	-	患者体験調査
		300002			ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合	-	患者体験調査
		300003	再掲		家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	3022	患者体験調査
		300004	再掲		治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	-	患者体験調査、小児患者体験調査
		300005			がんの新しい治療法に関する情報の中には、十分な科学的根拠がなく、注意を要するものがあると思う人の割合	-	世論調査
		300006		○	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合	3034	遺族調査
		300007	再掲		在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度	3033	遺族調査のサブグループ解析（全死亡のうち在宅死亡）
		300008			治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したがん患者の割合	-	患者体験調査
		300009			金銭的負担が原因で生活に影響があったがん患者の割合	-	患者体験調査
		300010	再掲		がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	3002	患者体験調査
		300011			身体的・精神心理的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合	3014	患者体験調査
		300012		○	がん患者の自殺数	3050	革新的がん自殺研究推進プログラム
		300013			がんであることを話せる割合	-	世論調査
		300014			がん治療前に就学していた者のうち、「がん治療のために患者が転校・休学・退学したと回答した人」以外の割合	-	小児患者体験調査
		300015			人生をまっとうしたと感じていた患者の割合	-	遺族調査のサブグループ解析*9

分野	指標分類	#	再掲	コア指標	指標	3期	データソース
相談支援及び情報提供							
相談支援について							
	アウトプット指標	311101		○	がん相談支援センターでの自施設・他施設からの新規相談件数（全国の拠点病院等での総数）	-	現況報告書
		311102			相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数	-	現況報告書
		311103			上記の内、フォローアップ研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数	-	現況報告書
		-			あり方の検討段階のため指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-
		311104			拠点病院等 1 施設あたりの連携している患者団体の数	-	現況報告書
		311105			拠点病院等 1 施設あたりの体験を語り合う場の開催数	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	311201		○	がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	3023	患者体験調査、小児患者体験調査
		311202			治療法や病院についてがん相談支援センターで情報入手しようと思う人の割合	-	世論調査
		311203	再掲		がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	3021	患者体験調査
311204				ピアサポーターについて知っているがん患者の割合	3024	患者体験調査	
情報提供について							
	アウトプット指標	312101			がん情報サービスにアクセスした件数	-	国立がん研究センターからのデータ提供
		312102			がん情報サービスにおけるコンテンツ更新数	-	国立がん研究センターからのデータ提供
		312103			がん情報サービスにおける点字資料、音声資料数、資料の更新数	3026	国立がん研究センターからのデータ提供
	中間アウトカム指標	312201			治療法や病院についてがん情報サービスで情報入手しようと思う人の割合	-	世論調査
		312202			がん情報サービスにアクセスし、探していた情報にたどり着くことができた人の割合	3025	がん情報サービスによる調査（国立がん研究センターからのデータ提供）
		312203	再掲	○	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	3021	患者体験調査
社会連携に基づく緩和ケア等の患者支援							
	アウトプット指標	320101			専門医療機関連携薬局（傷病の区分：がん）の認定数	-	厚生労働省調べ
		320102			地域緩和ケア連携調整員研修受講者数	-	地域緩和ケアネットワーク構築事業
		320103			診療情報提供料（Ⅱ）の算定数	-	NDB
	中間アウトカム指標	320201		○	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	3032	患者体験調査
		320202			患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあった	-	遺族調査
がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）							
就労支援について							
	アウトプット指標	331101		○	拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	3045	現況報告書
		331102			療養・就労両立支援指導料の算定件数 * がんについて	-	NDB
		331103			拠点病院等における就労の専門家による相談会の回数	-	現況報告書
		331104			ハローワークと連携した就職支援をおこなっている拠点病院等の割合	3044	長期療養者就職支援事業報告
		331105			長期療養者就職支援事業を活用した就職者数 * がんについて	-	長期療養者就職支援事業報告
		331106		○	両立支援コーディネーター研修修了者数	-	事業報告（労働者健康安全機構）
	中間アウトカム指標	331201		○	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	3041	患者体験調査
		331202			がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	3042	患者体験調査
		331203		○	退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合	3043	患者体験調査
		331204			治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者の割合	3046	患者体験調査
		331205		○	治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされているがん患者の割合	3047	患者体験調査
アピアランスケアについて							
	アウトプット指標	332101		○	アピアランスケア研修（e-learning）修了者数	-	国立がん研究センターアピアランス支援センターからのデータ提供
		332102			拠点病院等におけるアピアランスに関する相談件数	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	332201	再掲		外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができたがん患者の割合	3048	患者体験調査
がん診断後の自殺対策について							
	アウトプット指標	333101	再掲		緩和ケア研修修了者数	3017	がん等における新たな緩和ケア研修等事業
		333102		○	自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院等の割合	-	現況報告書
		333103		○	特定疾患治療管理料 がん患者指導管理料Ⅰ算定数	-	NDB
		333104			特定疾患治療管理料 がん患者指導管理料Ⅱ算定数	-	NDB
	中間アウトカム指標	333201	再掲	○	心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できたと感じている患者の割合	3011	患者体験調査
		333202	再掲	○	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3013	患者体験調査
		333203	再掲		療養生活の最終段階において、精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3016	遺族調査
		333204	再掲		身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができと思う患者の割合	2075	患者体験調査
		333205	再掲		身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3012	患者体験調査
		333206	再掲		療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3015	遺族調査
その他の社会的な問題について							
	アウトプット指標	334101			情報取得や意思疎通に配慮が必要な者に対するマニュアルを作成している拠点病院等の割合	-	現況報告書
		334102	再掲		拠点病院等で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	334201			がんと診断されてから周囲に不必要な気を遣われている割合	-	患者体験調査
		334202			（家族以外の）周囲の人からがんに対する偏見を感じる割合	-	患者体験調査
ライフステージに応じた療養環境への支援							
小児・AYA世代について							
	アウトプット指標	341101			小児がん拠点病院等のがん相談支援センターにおける、小児・AYA世代のがん患者の発育及び療養上の相談への対応・支援のうち、教育に関する相談件数	-	現況報告書（小児がん） *10
		341102			国立がん研究センターによる「がん相談支援センター相談員基礎研修」(1)(2)を受講後、国立成育医療研究センターが実施する「小児がん相談員専門研修」を修了し、小児がん拠点病院等に配置されている者の数	-	現況報告書（小児がん）
		341103		○	小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会参加人数	4023	小児・AYA世代の長期フォローアップ体制整備事業事業報告
		341104			長期フォローアップ外来を開設している小児がん拠点病院等の数	-	現況報告書（小児がん）
		341105			小児がん拠点病院等のがん相談支援センターにおける、小児・AYA世代のがん患者に対する就労に関する相談件数	-	現況報告書（小児がん） *10
		341106			小児がん拠点病院が連携している、小児がんに関する患者団体の数	-	現況報告書（小児がん）
	中間アウトカム指標	341201			治療開始前に教育の支援等について医療スタッフから話があったと回答した人の割合	3052	小児患者体験調査
		341202			がん治療のため転校・休学・退学したと回答した人のうち、患者の治療中に何らかの就学支援制度を利用したと回答した人の割合	-	小児患者体験調査
		341203			治療中に学校や教育関係者から治療と教育の両立に関する支援を受けた家族の割合	3053	小児患者体験調査
		341204			長期フォローアップについて知っていると回答した人の割合	-	小児患者体験調査
		341205	再掲	○	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	-	患者体験調査
		341206			つらい症状には速やかに対応してくれたと思うと回答した人の割合	-	小児患者体験調査

分野	指標分類	#	再掲	コア指標	指標	3期	データソース
	高齢者について						
	アウトプット指標	342101	再掲		当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の割合	-	現況報告書
		342102		○	介護支援等連携指導料の算定数（がん患者に限定）	-	NDB
		342103		○	退院時共同指導料 1 の算定数（がん患者に限定）	-	NDB
		342104	再掲	○	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等の割合	-	現況報告書
	中間アウトカム指標	342201			介護をしたことで、全体的に負担感が大きかったと回答した割合	-	遺族調査のサブグループ解析（仮）*9
		342202			医師・看護師・介護職員など医療者同士の連携はよかったと回答した割合	-	遺族調査のサブグループ解析（仮）*9
		342203			患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあったと回答した割合	-	遺族調査のサブグループ解析（仮）*9
	4. これらを支える基盤の整備						
	全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進						
	個別施策	-			戦略を検討するものであるので指標設定無し ※次期「がん研究10か年戦略」を令和 5 年度中に策定	-	-
	アウトプット指標	410101			「革新的がん医療実用化研究事業」事後評価	-	AMED
		410102			日本臨床研究実施計画・研究概要公開システム（jRCT）に登録されたゲノム変異にもとづくがんを対象とした臨床研究の数	-	jRCT、AMED□
		410103			日本臨床研究実施計画・研究概要公開システム（jRCT）に登録されたAMED疾患領域（がん）の研究数	-	jRCT、AMED□
		410104			厚生科研の採択課題における事後評価の平均	-	厚生労働省調べ
		410105			「がん政策研究事業」成果に関する評価	-	厚生労働省調べ
	中間アウトカム指標	410201		○	CSO(Common Scientific Outline)分類別・部位別論文数、引用数	-	論文デ-タベ-ス Dimensions
		410202			（AMEDにおけるがんに関する）研究成果を活用した臨床試験・治験への移行数	-	AMED
		410203			（AMEDにおけるがんに関する）薬事承認件数（新規・適応拡大）（医療機器含む）	-	AMED
		410204			（AMEDにおけるがんに関する）シーズの企業への導出件数	-	AMED
人材育成の強化							
アウトプット指標	420101			がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業評価	-	文部科学省からのデ-タ提供	
	420102			がんゲノム医療コーディネーター研修会参加人数	4022	がんのゲノム医療従事者研修事業（～R4）、現況報告書（ゲノム）	
	420103	再掲		がんリハビリテーション研修プログラムを修了している医療従事者の人数	2063	ライフプランニングセンターからのデ-タ提供	
	420104	再掲		小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会参加人数	4023	小児・AYA世代の長期フォローアップ体制整備事業事	
	420105	再掲		緩和ケア研修修了者数	4021	がん等における新たな緩和ケア研修等事業	
	420106			緩和ケアに特化した講座を設置している大学の数	4024	文部科学省からのデ-タ提供	
	中間アウトカム指標	420201		○	第 4 期がんプロで支援されたがん専門医療人材の人数	-	事業における取組状況調査
がん教育及びがんに関する知識の普及啓発							
アウトプット指標	430101		○	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	4031	がん教育の実施状況調査	
	430102			がん情報サービスに含まれる項目数	-	国立がん研究センターからのデ-タ提供	
	430103	再掲		拠点病院等で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）	-	現況報告書	
	430104			がん対策推進企業アクションの参加企業数	4033	厚生労働省調べ	
	中間アウトカム指標	430201			「がんは誰もがかかる可能性のある病気である。」に対して「正しい」と回答した割合	-	がん教育総合支援事業事業成果報告書
		430202		○	「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。」に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合	-	がん教育総合支援事業事業成果報告書
		430203	再掲		がんの新しい治療法に関する情報の中には、十分な科学的根拠がなく、注意を要するものがあると思う人の割合	-	世論調査
がん登録の利活用の推進							
アウトプット指標	440101			全国がん登録の精度指標としてのMI比・%DCO	2111	全国がん登録	
中間アウトカム指標	440201		○	利用件数（総数・年あたり）	-	厚生労働省調べ／国立がん研究センターからのデ-タ提供	
患者・市民参画の推進							
アウトプット指標	450101		○	都道府県がん対策推進計画の策定過程におけるがん患者を代表する者の参加割合（参考：性別、年代等の多様性）	4001	厚生労働省調べ	
	450102			厚生労働省科学研究を基に開催された研修会の開催回数	-	厚生労働科学研究	
	中間アウトカム指標	450201			がん対策を進めるためには国民の協力が広く必要であると考える人の割合	-	世論調査
		450202			関係学会において患者・市民参画を知っていると回答した医療者の割合	-	日本癌治療学会からのデ-タ提供
デジタル化の推進							
アウトプット指標	460101			患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している拠点病院等の割合	-	現況報告書	
	460102			セカンドオピニオンを提示する場合は、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けることができる体制を確保している拠点病院等の割合	-	現況報告書	
	460103			集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関する、冊子や視聴覚教材等がオンラインでも確認できる拠点病院等の割合	-	現況報告書	

注釈

*1. 地域がん診療連携拠点病院、都道府県がん診療連携拠点病院、特定領域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院（各類型の特例型を含む）。

*2. がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院、がんゲノム医療連携病院における人数。

*3. がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院における人数。

*4. 大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、前立腺がん及び肝・胆・膵のがんを想定。

*5. 地域がん診療連携拠点病院、都道府県がん診療連携拠点病院（各類型の特例型を含む）。

*6. 診療の質評価指標（Quality Indicator、QI）研究参加施設（2019年症例解析には591 施設が参加、うち、国指定のがん診療連携拠点病院等指定施設は 386 施設（拠点病院の 86％）。）

*7. 化学療法を遅延なく受けることができているかを評価。測定対象の定義や測定方法について、研究班で検討予定。

*8. 膵がんを代表例として想定。難治性がんの定義について、今後検討が必要。

*9. サブグループ解析は、遺族調査の結果を、75歳以上に限定して解析することを想定。

*10. 成人拠点におけるAYA世代のがん患者に係る相談件数も算出することを検討中（令和 4 年度では現況報告書に対応項目無し）。

*11. 小児がん拠点病院と、小児がん連携病院の類型 1 を分母とする想定。

*12. 拠点病院等における診療従事者の配置状況を割合で評価する指標については、参考情報として診療従事者数の推移についても確認を行う。